



神護の二月十三日頃になると。今はただ
一日も早く君や子供達へ会いたいと言う事しか
頭にはない。とにかく予定通り帰ると思う
が、十三日頃はあんなかいごはんとおしるを
待つまいとく肌頼む。では子供達や信ちゃん
に愛しく。

おちちゃんへ とうちゃん おり

60年前の
実際の手紙です ♥



恋文

No. _____

Date _____

～ラブレター～

～「ウチナー心」で支える貴方の居場所～

訪問時にいつも美らか～ぎ～の〇〇様

今回は話の流れから、60年前にタイムスリップです。

まだまだ沖縄も貧しかった頃にご結婚され、生活を守るため、
遠く離れた海外で働く旦那様から一通のお手紙が届きました。

〇〇様は今でもそのお手紙を大切に保管しています。

なんと今から60年前の恋文を見せてもらいました。

今でも訪問時に〇〇様の会話の中で父ちゃんへの愛が伝わります。

聴いてる私もチムドンドン・・・

毎回少女のようなまなざしで語ってくれます。

遠く離れていても父ちゃんは家族をみていてくれる。

「父ちゃんが居たから頑張れた・・・」

そうおっしゃって笑います。

とても素敵なお夫婦ですね♪

聴いている私も毎回幸せな気持ちになります♪

〇〇様、本日も素敵なお話をくわわっち～さびたん！

（ごちそう様でした）

